

全国では239の自治体議会が すでに個々の議案の賛否を 公開しています! ※2011年現在

12月議会にて、議案等に対する個々の議員の賛否の公開を求める陳情が 不採択になりました。

流山市、柏市、市川市、我孫子市を始め、他の多くの近隣市では既に「議会だより」や「HP」等を使って公開しています。このまま松戸市が公開しないと、近隣に大きく遅れをとってしまう事が危惧されます。改革のスピード感の無さが、街の衰退につながらなければ良いのですが…。

「全議案の議員個人の賛否を公開している」市は 26% (政令市除く)。紙媒体やインターネット等、何らかの形で議員個人の賛否を公開している議会は 33.4%と、3議会に1議会以上が既に公開しています。ちなみに、2012年5月21日時点で議案に対する賛否の公開は、松戸市議会は議会報・インターネットともに「×」(県内最下位)でした。

※出典：議会改革白書2012年度版、日経グローバル196号(2012/5/21)、早稲田大学マニフェスト研究所より



個々の議員の態度を掲載すると、
困る議員(ひと)でもいるのかな…!?
議会が自分たちで決定することができるのに…

議会改革の先が思いやられる…

※イラストはイメージです。

市民に開かれた議会の
GOALへ



我孫子

★流山市は議会改革全国NO.1

~市民力の政策~ 議員個人の賛否態度は完全公開! 議会だより・HPにも載せるべき!!

1. 議員にしか与えられていない議決権の行使は、議員の最も重要な責務。その態度を市民に知らせるのは当たり前のことである。
2. 有権者は選挙で「議員」個人に投票したのであって、「会派」に投票したのではない。ゆえに、会派単位で公表するだけでは情報として不十分である。
3. 実際、会派内で賛否が割れている事態が頻発している。
4. 近隣や全国の多くの議会では既に公開の流れ。これ以上、松戸市議会が遅れをとってはいけない。
5. そもそも、議員の個人名を載せない合理的な理由がない。

※市民力(山中けいじ幹事長)は、議員個人の賛否をHPにて公開したところ、第7回マニフェスト大賞「優秀コミュニケーション賞」を受賞しました。外部機関からの評価を頂いたことに深く感謝申し上げます。

ガンバシ!

市民力